

# 新境地 しんきようちネクストステージ

## 困難を乗り越えて、～贈る言葉～

3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。卒業式を明日に控え、今どんな気持ちですか？仲間との別れを感じ、悲しい気持ちですか？これからの生活への期待を持って、楽しみな気持ちですか？卒業は別れだけでなく、旅立ちでもあります。未来を担う君たちよ、おおいなる未来に向かって旅立ってください。そして素晴らしい将来を歩んでください。

さて今年度は新型コロナウイルス感染防止による休校から始まり、様々な行事が中止や変更を余儀なくされました。部活動においても大会の中止や縮小など力を発揮できず悔しい思いをかみしめた人が多かったことでしょう。「どうして僕たちが、、、」「私たちが、、、」と悲観的に考えた人もいたことでしょう。大きな障害や困難に見舞われた時、私はあることを思い出します。

1991年11月、アメリカのプロバスケットボールリーグ(NBA)のスター選手であったマジック・ジョンソンがHIVウイルス感染のため引退を発表しました。HIVウイルスとは人の免疫細胞を破壊してエイズ(後天性免疫不全症候群)を発症させるもので、エイズは発症すると免疫力の低下により様々な合併症を引き起こし、致死率の高い病気とされていました。NBA 史上最高のプレイヤーの一人とされるマジックの引退は世界に衝撃を与えました。小学生だった私も良く覚えています。そして当時、エイズという病気について偏見や差別があった中でのマジックの公表も衝撃的でした。引退したマジックはエイズへの正しい理解を促すような啓発活動などを行いながら、治療によるエイズ発症を抑え、30年近く経った現在も存命です。このマジックのことについてある漫画で以下のような台詞があります。

『 あのマジック・ジョンソンが HIV 感染を発表したとき、  
俺は、「なんでよりよってマジックが」と思った。  
あれ以来よく考えるんだ。神サマか仏サマか、何かそれっぽいものがあるとして、  
その神サマは「この人間だったら乗り越えられる」  
そう判断してマジックを選んだんじゃないかって。 』  
漫画「リマル」より

コロナウイルスという大きな困難が立ちはだかったとき、知恵を振り絞って「できること」を考え、取り組んできた一生懸命な姿を見ることができました。コロナウイルスの脅威は収まったわけではありません。これから先の将来も、コロナウイルスに限らず、様々な困難が待っていることでしょう。でもきっとみんなは乗り越えられる。乗り越えられる力が君たちにはあるから。自信を持って前へ、先へ、未来へ、進んでください。卒業おめでとう。

そして在校生のみなさんも、困難に負けず、制限があるなら、「できること」を模索すれば良い。先輩たちのように、一生懸命前向きに取り組んでいきましょう。素晴らしい中野中の伝統を受け継いで、ネクストステージの中野中を築いていきましょう。